

関係団体の取組みに関する課題等について

団体名	課題等について
公益社団法人 成年後見センター・リーガルサポート山形支部	コロナ禍で、施設等において本人(入所者・入居者)との面談が制限されるなか、別室でZOOM等による面談が可能な施設等もあるが、虐待防止の観点から、本人がどのような状態で暮らしているかの確認(特に実際に生活をしている居所の確認)をさせていただくことも重要と考えます。
社会福祉法人 山形県社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉共育(教育)の推進にあたり、社協と学校との関係性づくりが課題。 ・新型コロナウイルスに影響もあり、福祉教育を実施する機会が減り、福祉共育の普及が課題。 ※本会では、社協や行政機関、学校、社会福祉施設・福祉関係団体、ボランティア・NPOなどが取り組む福祉教育・福祉学習等を「福祉共育」として捉えている。自分を大切に思う感情を高め、自他の生命、人権、生き方を尊重する豊かな人間性を育てるための取組みを推進し、福祉の心の醸成を図っている。
一般社団法人 山形県医師会	○認知症高齢者の運転免許更新について <ul style="list-style-type: none"> ・医師は認知症が疑われる患者に運転免許更新に関する診断書を記入する必要があるが、統一した診断基準やガイドラインが明確になっていない。 ・老老介護の問題や郡部に住む高齢者等の生活に不便をきたす面もあり、安全と引き換えに車を手放した高齢者へのサポートのあり方が課題となっている。
公益社団法人 山形県看護協会	訪問看護ステーションでは、認知症高齢者の対応研修は行っていたが、虐待防止としての研修会はあまり行っていなかったため、今後研修をするうえで他団体の情報を活用し研修を開催していきたい。